



鹿児島県における さとうきび経営安定対策等への取り組み

平成25年10月17日（木）

鹿児島県 農政部 農産園芸課

※当日配布資料を一部修正済

(補足) 説明項目

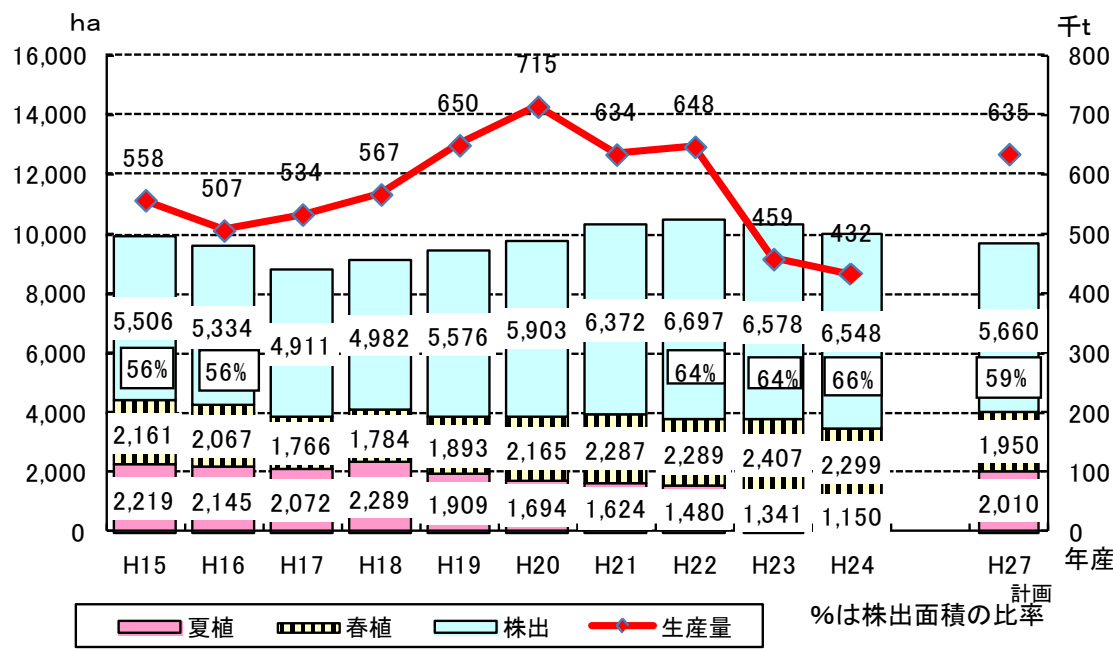
- 1 鹿児島県のさとうきび生産の現状
「さとうきび増産計画」策定時から24年産までのさとうきび生産の推移
- 2 平成24年産さとうきびの不作
相次ぐ台風の襲来による24年産さとうきびの不作(2年連続)
- 3 生産農家の構造
さとうきび栽培農家の戸数, 一戸当たり規模の推移
- 4 品目別経営安定対策の対象者の推移
交付金対象者数や区分別対象者数頭の推移
- 5 特例農家の本則要件適用への支援
要件見直し(H22)時の特認農家の移行及び共同利用組織の設立
- 6 営農組織の育成
さとうきびの営農組織及びハーベスタ収穫率の推移
- 7 さとうきび増産計画の推進と生産回復の取組
生産回復に向けた直近数年の取り組み



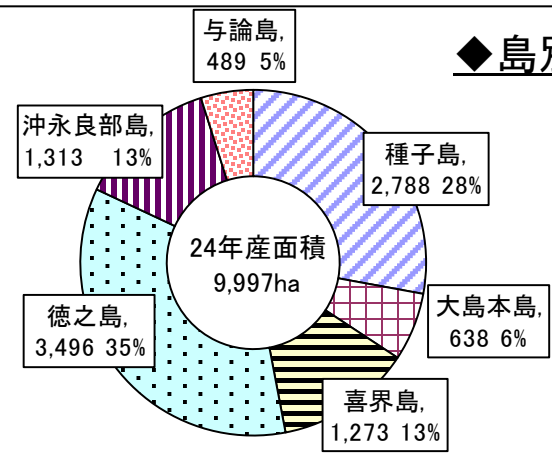
1 鹿児島県のさとうきび生産の現状

- 平成17年産以降22年産まで大きな気象災害もなく、さとうきび増産計画を上回る生産（株出栽培が増加。計画のあるH18以降、面積・生産量ともに計画以上）
- 平成23年産は度重なる気象災害や病害虫被害などにより、24年産は台風が連続して襲来し、2年連続の不作。（単収、生産量ともに昭和40年以降で最低）

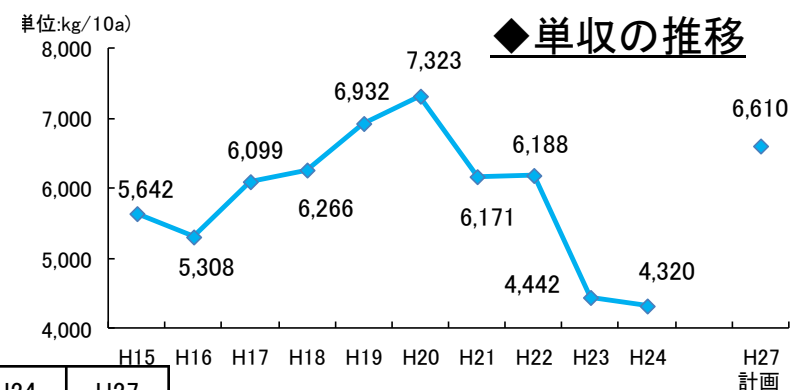
◆収穫面積と作型別生産量の推移



◆島別面積



◆単収の推移



年産	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27
収穫面積	9,885	9,547	8,749	9,055	9,378	9,762	10,282	10,465	10,326	9,997	9,620

(資料)鹿児島県農産園芸課
「さとうきび及び甘しゃ糖生産実績」

2 平成24年産さとうきびの不作

○ 平成24年産は、8月下旬から9月下旬に3つの台風(15・16・17号)が相次いで襲来し、潮風害や倒伏等の被害が発生。生産量・単収ともに過去最低となり、2年連続の不作。

(23年産は、春先までの低温、5月末の台風2号をはじめとする台風被害、奄美地域では干ばつやメイチュウ被害などが発生し、単収、生産量ともに過去最低)

○生産量の比較

(単位：千t, %)

	H22年産	H23年産	H24年産	比較	
				対H22	対H23
種子島地域	198	171	154	78	90
奄美地域	450	288	※ 278	62	97
奄美大島	33	18	※ 18	55	100
喜界島	88	58	※ 58	66	100
徳之島	220	143	※ 127	58	89
沖永良部島	80	50	54	68	108
与論島	29	※ 18	21	72	117
県計	648	459	※ 432	67	94

(注)※印は過去最低。ラウンドの関係で計は一致しない。

○単収の比較

(単位：kg/10a, %)

	H22年産	H23年産	H24年産	比較		比較②	
				対H22	対H23	平年	平年比
種子島地域	7,200	6,082	5,537	77	91	7,068	78
奄美地域	5,827	※ 3,829	3,850	66	101	5,584	69
奄美大島	5,192	※ 2,757	2,761	53	100	5,100	54
喜界島	7,098	※ 4,570	4,576	64	100	6,607	69
徳之島	5,571	3,802	※ 3,619	65	95	5,342	68
沖永良部島	5,731	※ 3,772	4,089	71	108	5,853	70
与論島	5,754	※ 3,676	4,387	76	119	5,119	86
県計	6,188	4,442	※ 4,320	70	97	5,979	72

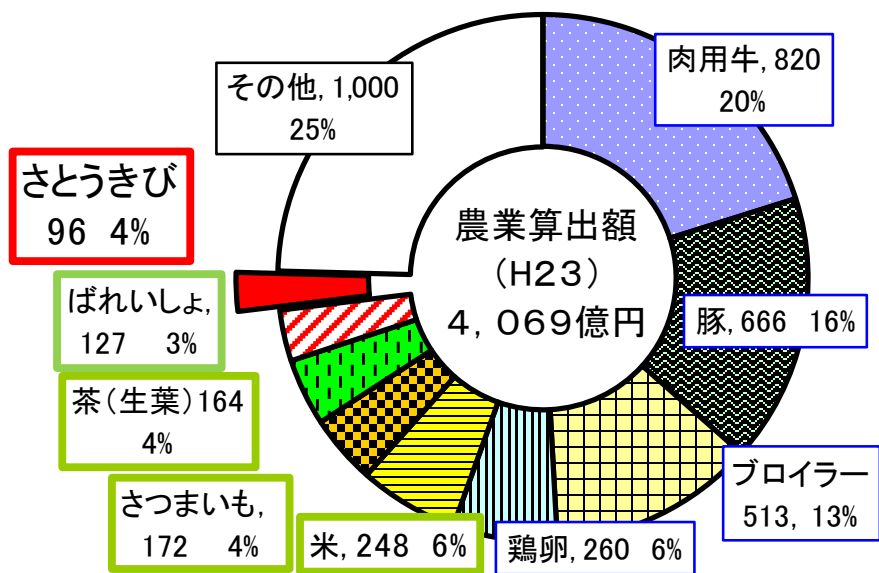
(注)※印は過去最低



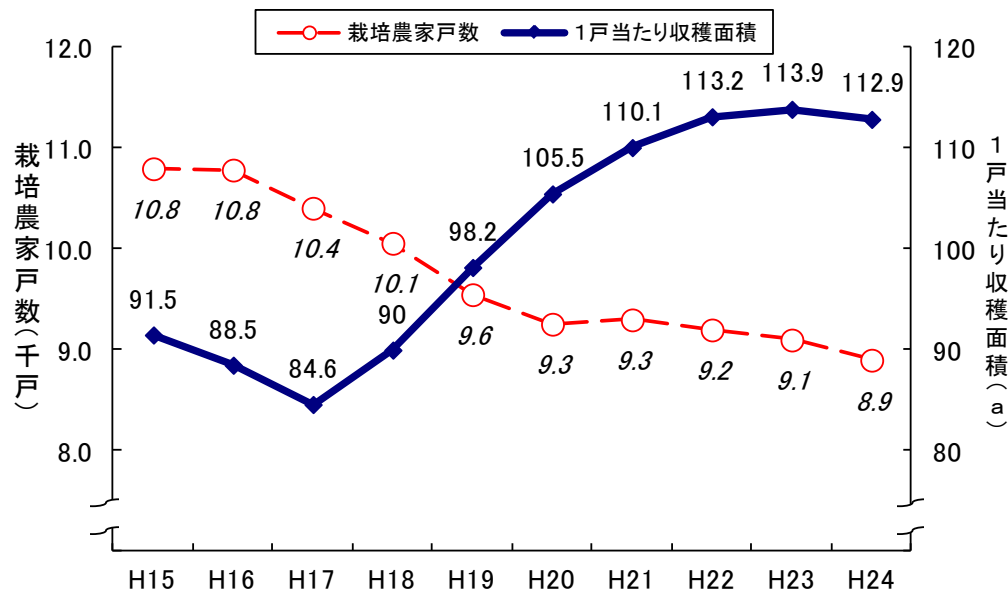
3 生産農家の構造

○さとうきびは、本県の耕種作物の中で米、さつまいも、茶、ばれいしょに次ぐ産出額
 ○栽培農家戸数は減少傾向にあるものの、1戸当たりの収穫面積は17年産以降拡大傾向

◆農業産出額の内訳



◆さとうきび栽培農家戸数、1戸当たり収穫面積の推移



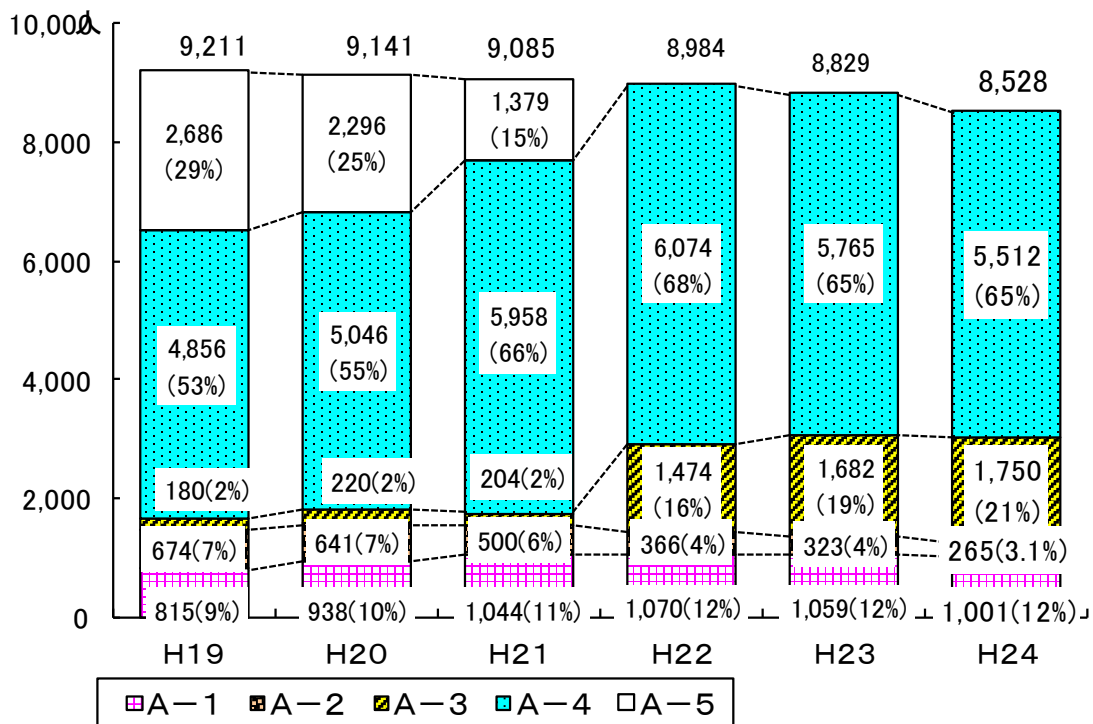
(資料)農林水産省「生産農業所得統計」

(資料)鹿児島県農産園芸課「さとうきび及び甘しゅ糖生産実績」

4 品目別経営安定対策の対象者の推移

- 約8,500人のさとうきび生産者が交付金の対象者。A-3が拡大傾向。
- 22年度からの要件見直し等により、A-5(特例農家)は、離農者等を除き本則要件に移行

◆区分別対象者数の推移



(資料)(独)農畜産業振興機構
(H24は速報値)

◆各島別対象者数(H24速報値)

	A-1	A-2	A-3	A-4	計
種子島 (構成比)	279 11.9%	102 4.3%	376 16.0%	1,592 67.8%	2,349 100.0%
奄美大島 (構成比)	42 7.7%	6 1.1%	0 0.0%	497 91.2%	545 100.0%
喜界島 (構成比)	101 15.6%	67 10.3%	24 3.7%	456 70.4%	648 100.0%
徳之島 (構成比)	200 6.5%	57 1.8%	1,040 33.7%	1,787 57.9%	3,084 100.0%
沖永良部島 (構成比)	324 28.2%	9 0.8%	310 27.0%	505 44.0%	1,148 100.0%
与論島 (構成比)	55 7.3%	24 3.2%	0 0.0%	675 89.5%	754 100.0%
県計 (構成比)	1,001 11.7%	265 3.1%	1,750 20.5%	5,512 64.6%	8,528 100.0%

A-1: 認定農業者等 A-2: 一定規模以上の経営体 A-3: 共同利用組織の構成員 A-4: 基幹作業の委託者 A-5: H19~H21特例農家





5 特例農家の本則要件適用への支援

- 各島では、制度の周知を図るとともに、基幹作業の委託や共同防除等を推進
- 県糖業振興協会では、各島にさとうきび経営安定対策・増産推進員を設置

関係機関・団体の一体となった推進

- ・制度の周知徹底
- ・基幹作業委託や共同防除等の推進

さとうきび経営安定対策・増産推進員 (H21年度～23年度)

(社)鹿児島県糖業振興協会では、さとうきびの効率的・安定的な生産体制の確立を図るために、「さとうきび経営安定対策・増産推進員」を各島に1人配置。

推進員の戸別訪問の実施等により
本則要件適用をサポート

- 多くの生産者が、引き続き支援対象となるよう、作業受委託や共同防除等を推進した。
- 21年度の特例農家(A-5)約1,400人は、高齢化による離農者等を除き、22年度の本則要件に移行。

○ 特例農家の推移(H21～H23)

区 分	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	合 計
H 2 1 交付者数	1,044	500	204	5,958	1,379	9,085
H 2 2 交付者数	1,070	366	1,474	6,074		8,984
うち旧 A-5	13	31	256	914		1,214
H 2 3 交付者数	1,059	323	1,682	5,765		8,829
うち旧 A-5	12	26	269	806		1,113

◆島別の要件別生産者数の推移(H21とH24の比較)

島名	年度	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	合計
種子島	H21	209	150	176	1,398	497	2,430
	H24	279	102	376	1,592		2,349
	増減	+70	△ 48	+200	+194	△ 497	△ 81
奄美大島	H21	54	21	0	437	94	606
	H24	42	6	0	497		545
	増減	△ 12	△ 15	+0	+60	△ 94	△ 61
喜界島	H21	100	97	7	409	60	673
	H24	101	67	24	456		648
	増減	+1	△ 30	+17	+47	△ 60	△ 25
徳之島	H21	278	149	21	2,652	268	3,368
	H24	200	57	1,040	1,787		3,084
	増減	△ 78	△ 92	+1,019	△ 865	△ 268	△ 284
沖永良部島	H21	351	38	0	723	123	1,235
	H24	324	9	310	505		1,148
	増減	△ 27	△ 29	+310	△ 218	△ 123	△ 87
与論島	H21	52	45	0	339	337	773
	H24	55	24	0	675		754
	増減	+3	△ 21	+0	+336	△ 337	△ 19
県計	H21	1,044	500	204	5,958	1,379	9,085
	H24	1,001	265	1,750	5,512		8,528
	増減	△ 43	△ 235	+1,546	△ 446	△ 1,379	△ 557

(資料)(独)農畜産業振興機構(H24は速報値)

A-3共同利用組織の設立事例

22年度設立(5組織)

- ①西之表市さとうきび振興会防除組合(種子島, 防除)
- ②中種子町きび甘藷振興会防除組合(種子島, 防除)
- ③南種子町きび甘しょ振興会防除組合(種子島, 防除)
- ④JAあまみ徳之島地区さとうきび部会(徳之島, 防除)
- ⑤JAあまみ天城地区さとうきび部会(徳之島, 防除)

※④は推進計画を作成

23年度設立(2組織)

- ①JAあまみ和泊地区さとうきび部会(沖永良部島, 防除)
- ②川嶺太陽ファーム(喜界島, 収穫)

24年度設立(5組織)

- ①名久里さとうきび生産組合(種子島, 収穫)
- ②西新原さとうきび生産組合(種子島, 収穫)
- ③AKKファーム(喜界島, 収穫)
- ④ファームチームTMF(喜界島, 収穫)
- ⑤アグリ嶺山(徳之島, 収穫)

25年度設立(3組織)

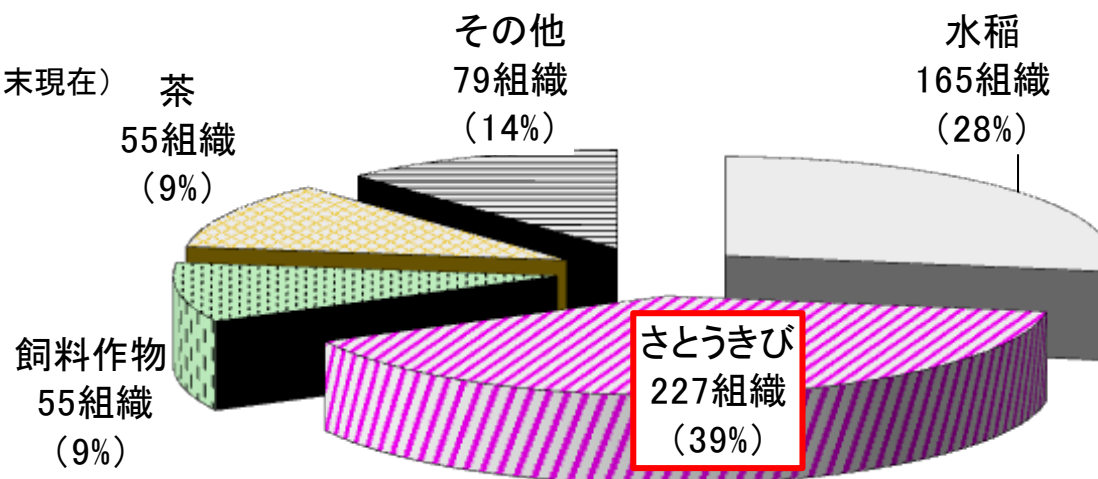
- ①町田さとうきび生産組合(徳之島, 収穫)
- ②富久さとうきび生産組合(沖永良部, 収穫)
- ③池さとうきび生産組合(沖永良部, 収穫)

6 営農組織の育成

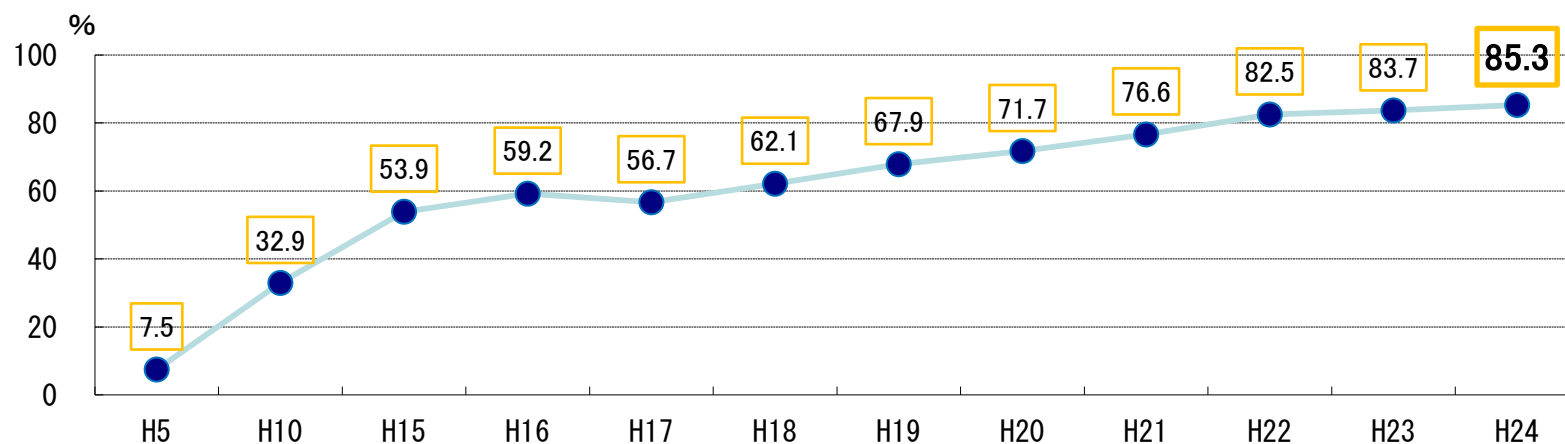
- 農業機械の共同利用や農作業の受委託を行う営農組織数は、さとうきびが最も多く4割を占める
- ハーベスタ収穫率も年々増加し、収穫面積の8割以上を占める

◆品目別の営農組織の内訳 (24年度末現在)

(資料)鹿児島県経営技術課調べ



◆ハーベスタ収穫率の推移



(資料)鹿児島県農産園芸課調べ



7 さとうきび増産計画の推進と生産回復の取組

- 品目別経営安定対策を含めた「さとうきび増産計画」に基づく経営・生産基盤を強化
- 2年連続の不作からの早期回復に向け取組中

さとうきび増産計画の推進

県全体では22年産まで面積・生産量ともに27年目標を達成

【主な要因】

- ・品目別経営安定対策に対応した担い手の育成
- ・ハーベスタ収穫率の向上
- ・病害虫防除対策の確立 等

新たな対応

低コストで持続的な生産体制の確立を目指した「さとうきび増産計画」の検証(H24)

引き続き、担い手育成など経営基盤の強化、機械化の推進など生産基盤の強化、技術対策を推進

2年連続の不作からの生産回復

早期の生産回復に向けた取組中

【主な対策】

- ・面積確保（春植・株出の推進，種苗供給）
- ・メイチュウなど病害虫防除対策（効率的な防除方法の実証，一斉防除の実施，フェロモン剤による交信かく乱の実証など）
- ・各島の課題に応じたさとうきび増産・生産性の向上に向けた取組の支援
- ・農業機械の導入支援等（ハーベスタ，防除機，株出管理機等）
- ・製糖関連施設の整備・機能強化等

さとうきび増産基金の有効活用

平成25年産の懸念

小雨による干ばつの影響!!
台風24号の倒伏・折損・潮風害!!

南西諸島におけるさとうきび及び製糖業の持続的発展を実現

